



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社リアルワールド 上場取引所 東
 コード番号 3691 URL http://realworld.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 誠晃
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 石塚 明 (TEL) 03-5114-3580
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,116	7.7	△3	—	4	△81.6	2	△81.5
28年9月期第1四半期	1,036	77.9	27	—	26	—	16	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 5百万円(△69.9%) 28年9月期第1四半期 17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	1.10	1.09
28年9月期第1四半期	5.94	5.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	3,440	1,033	26.9
28年9月期	3,655	1,028	25.3

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 924百万円 28年9月期 923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	13.0	150	△26.3	150	△30.9	30	—	10.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	2,736,300株	28年9月期	2,736,300株
29年9月期1Q	65株	28年9月期	65株
29年9月期1Q	2,736,235株	28年9月期1Q	2,718,860株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断の仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保障するものではありません。

また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期決算短信提出日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復基調や雇用回復がみられるものの、依然として個人消費は弱含んでおり、世界経済は欧米や資源国等を中心に不透明な状況が続いていることや、為替の急激な変動の影響により、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループを取り巻く広告市場においては、引き続きスマートフォンの普及の後押しを受け、スマートフォン市場規模は拡大を続けており、平成29年のスマートフォン広告市場は、前年比18.2%増の5,369億円と順調な成長が見込まれます。(出所: CyberZ/シード・プランニング「2016年スマートフォン広告市場動向調査」)

当社グループはこのような事業環境のもと、クラウド事業及びフィンテック事業を中心として事業を展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,116,190千円(前年同四半期比7.7%増)、営業損失は3,645千円(前年同四半期営業利益は27,948千円)となりましたが、投資有価証券売却益が16,750千円発生したため経常利益は4,918千円(前年同四半期比81.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,996千円(前年同四半期比81.5%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

a. クラウド事業

クラウド事業においては、当第1四半期連結累計期間も引き続き、クラウドメディアによって接触会員数の増加を図り、クラウドソーシングによって売上単価の上昇を図るといった相互作用を持った事業拡大を進めております。

また、育児や介護、身体や住まいの地域の状況など、ユーザーのライフステージにあった多種多様な働き方を提供する「ワークエコシステム」のより一層の拡大を進めております。

この結果、売上高は1,113,073千円(前年同四半期比8.2%増)、セグメント利益は199,373千円(前年同四半期比0.5%増)となりました。

b. フィンテック事業

フィンテック事業においては、当第1四半期連結累計期間も引き続き、現金より価値のある通貨を生み出すことのできるインフラの構築をするべく、ポイント利息をはじめとした、基礎整備などの先行投資を継続しております。また、当社ポイントとシナジー効果の創出を見込める企業への出資を行っております。

この結果、売上高は3,116千円(前年同四半期比58.4%減)、セグメント損失は5,567千円(前年同四半期は10,824千円のセグメント損失)となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報」の「3 報告セグメントの変更等に関する事項」を参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、184,289千円減少し、2,541,924千円となりました。これは主として、現金及び預金が183,501千円減少、そして売掛金が1,033千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、29,320千円減少し、895,472千円となりました。これは主として、のれんが8,720千円減少、投資有価証券が4,989千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、214,145千円減少し、3,440,971千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、182,872千円減少し、1,867,553千円となりました。これは主として、借入金による資金調達で短期借入金が30,000千円増加、特別調査費用の支払いなどで未払金が104,768千円減少、そして納税などにより未払法人税等の51,885千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、36,496千円減少し、540,102千円となりました。これは主として、借入金返済により、長期借入金が33,154千円減少したことによるものであります。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて、219,369千円減少し、2,407,656千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、5,223千円増加し、1,033,315千円となりました。これは主として、非支配株主持分が4,520千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績通期の見通しにつきましては、平成28年11月14日に公表いたしました「平成28年9月期 決算短信」の平成29年9月期の通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,085,868	902,366
売掛金	770,463	769,430
金銭の信託	404,242	392,581
仕掛品	67,016	63,280
貯蔵品	36,544	34,006
繰延税金資産	136,926	128,189
その他	227,016	253,425
貸倒引当金	△1,863	△1,355
流動資産合計	2,726,213	2,541,924
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	114,428	112,560
その他(純額)	51,396	47,529
有形固定資産合計	165,825	160,090
無形固定資産		
のれん	287,783	279,062
ソフトウェア	161,187	158,152
その他	11,096	9,031
無形固定資産合計	460,067	446,245
投資その他の資産		
投資有価証券	74,676	69,687
敷金及び保証金	208,733	207,689
その他	15,490	11,760
投資その他の資産合計	298,900	289,136
固定資産合計	924,792	895,472
繰延資産		
社債発行費	4,111	3,575
繰延資産合計	4,111	3,575
資産合計	3,655,117	3,440,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	392,321	394,904
短期借入金	550,000	580,000
1年内返済予定の長期借入金	146,801	144,302
1年内償還予定の社債	67,800	67,800
リース債務	14,939	11,699
未払金	226,911	122,142
未払法人税等	70,384	18,499
未払消費税等	45,063	40,026
賞与引当金	28,022	13,927
ポイント引当金	336,269	310,325
その他	171,912	163,925
流動負債合計	2,050,426	1,867,553
固定負債		
社債	169,500	169,500
長期借入金	359,054	325,900
リース債務	38,323	37,803
その他	9,721	6,899
固定負債合計	576,599	540,102
負債合計	2,627,026	2,407,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	425,517	425,517
資本剰余金	319,168	319,168
利益剰余金	174,068	177,065
自己株式	△141	△141
株主資本合計	918,612	921,609
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,987	2,692
その他の包括利益累計額合計	4,987	2,692
新株予約権	340	340
非支配株主持分	104,151	108,672
純資産合計	1,028,091	1,033,315
負債純資産合計	3,655,117	3,440,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,036,388	1,116,190
売上原価	551,376	639,281
売上総利益	485,011	476,909
販売費及び一般管理費	457,063	480,555
営業利益又は営業損失(△)	27,948	△3,645
営業外収益		
受取利息	3	0
為替差益	2,181	—
投資有価証券売却益	—	16,750
その他	105	7,127
営業外収益合計	2,290	23,877
営業外費用		
支払利息	2,331	2,113
投資有価証券評価損	—	11,599
その他	1,162	1,601
営業外費用合計	3,493	15,313
経常利益	26,744	4,918
特別利益		
保険金収入	—	10,000
投資有価証券売却益	10,977	—
特別利益合計	10,977	10,000
特別損失		
事業整理損	3,502	—
特別損失合計	3,502	—
税金等調整前四半期純利益	34,220	14,918
法人税、住民税及び事業税	5,633	208
法人税等還付税額	△7,866	△173
法人税等調整額	18,331	7,188
法人税等合計	16,098	7,223
四半期純利益	18,121	7,695
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,960	4,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,161	2,996

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	18,121	7,695
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△177	△2,294
その他の包括利益合計	△177	△2,294
四半期包括利益	17,943	5,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,983	702
非支配株主に係る四半期包括利益	1,960	4,698

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クラウド事業	フィンテック事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,028,891	7,496	1,036,388	—	1,036,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,028,891	7,496	1,036,388	—	1,036,388
セグメント利益又は損失(△)	198,366	△10,824	187,542	△159,594	27,948

(注) 1. フィンテック事業のセグメント利益の額の算定にあたっては、ポイント引当金戻入額を当該事業セグメントの費用に含めております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クラウド事業	フィンテック事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,113,073	3,116	1,116,190	—	1,116,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,113,073	3,116	1,116,190	—	1,116,190
セグメント利益又は損失(△)	199,373	△5,567	193,805	△197,451	△3,645

(注) 1. フィンテック事業のセグメント損失の額の算定にあたっては、ポイント引当金戻入額を当該事業セグメントの費用に含めております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

平成28年4月20日に、株式会社REAL FINTECHを設立し、「フィンテック事業」を報告セグメントとしております。これに伴い、前第3四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を従来の「ポイントエクスチェンジ事業」から「フィンテック事業」に変更しております。この変更は、当社のポイントシステム基盤の基礎技術の発展、ビットコインで用いられているブロックチェーン等の新技術の応用、投資等の金融領域への事業展開を具体的に進めるために、株式会社REAL FINTECHを設立したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称で表示しております。